

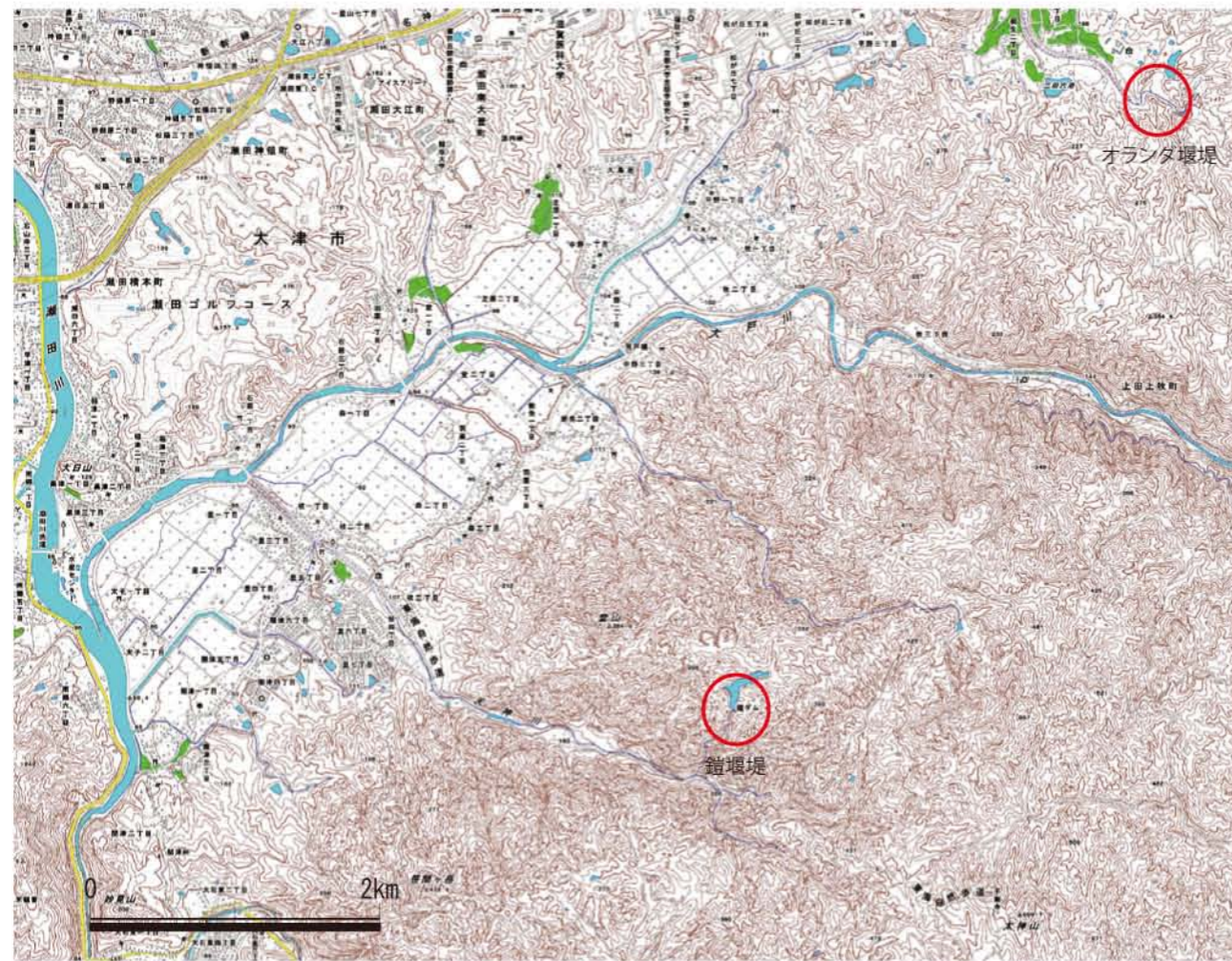
周辺の  
みどころ

水辺空間として活用されているオランダ堰堤・鎧堰堤の周辺には多くのみどころがある。

- 重要文化財不動寺本堂  
桁行三間、梁間三間、一重、寄棟造、桧皮葺。室町時代前期の建立。舞台造りに特色を持ち、和様仏堂建築の典型例である。
- 水のめぐみ館「アクア琵琶」  
琵琶湖の治水や利水、水環境などについて学べる施設。田上山の砂防事業の歴史的な資料も展示されている。



不動寺本堂



【アクセス】

- オランダ堰堤  
JRびわこ線「草津駅」下車  
帝産バス30分 上桐生 青地西グリーンヒル行き  
「上桐生」バス停下車、徒歩8分
- 鎧堰堤  
JR琵琶湖線「石山駅」下車  
帝産バス25分 アルプス登山口 石居口行き  
帝産バス27分 アルプス登山口 もみじが丘行き  
「アルプス登山口」バス停下車、徒歩55分

【もっと詳しく知りたいひとへの案内】  
(関連文献/関連施設)

- 滋賀県教育委員会『滋賀県の近代化遺産』平成12年

たなかみ えんてい  
田上山中の堰堤群  
オランダ堰堤と鎧堰堤

大津市上田上桐生町・田上森町若女谷



オランダ堰堤

田上山は古代以前、樅や檜に覆われた美山であったと言われるが、乱伐や土の採取によってはげ山となり、花崗岩の地肌ともあいまって、度々水害を引き起こすようになった。

被害は下流の淀川流域にも及んだことから、根本的な解決策として、多くの人々が様々な砂防工事に取り組んだ。中でも砂防堰堤は土砂の流出を止めるのに最も効果的であると考えられ、明治時代から西洋の技術を取り入れた石積みの堰堤が、田上山周辺に大小数多く建設された。

現在も各流域で、豊かな自然と折り合いながら、これらの堰堤がひっそりと土砂を止め、水流を正常にする役割を果たしている。私たちの暮らしを静かに支える水の宝である。





オランダ堰堤遠景（上） オランダ堰堤天端から下方を望む（下）

## 田上山中の堰堤群 オランダ堰堤と鎧堰堤

所在地 大津市上田上桐生町・田上森町若女谷

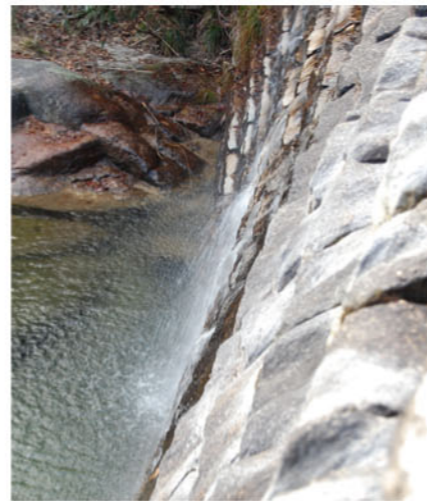
### オランダ堰堤（大津市指定史跡）

オランダ堰堤は、琵琶湖の南東、大津市上田上桐生町にあり、草津川の上流に位置する。周辺は、大津市の「桐生若人の広場」と呼ばれる教育キャンプ場となっており、夏場には多くの子供たちで賑わう。

堰堤は、堤長34m、高さ7m、天端部幅5.8m、平均法勾配4分程度、平面は緩いアーチ形をしている。上部に見える石から考えると、正面の石積みは、幅55cm×厚35cm×長1.2m程度の石を長手方向、階段状に20段積み上げている。

上流側は、満砂し、砂に埋もれているため形状は不明である。

建設年代は、資料から明治19年(1886)に着工、明治22年(1889)に竣工したと考えられる。設計者は、内務技師の田辺義三郎。建設当時は内務相第四区土木監督署の巡視長で、同省直轄の河川改修工事や府県の土木工事の計画が中心業務であった。

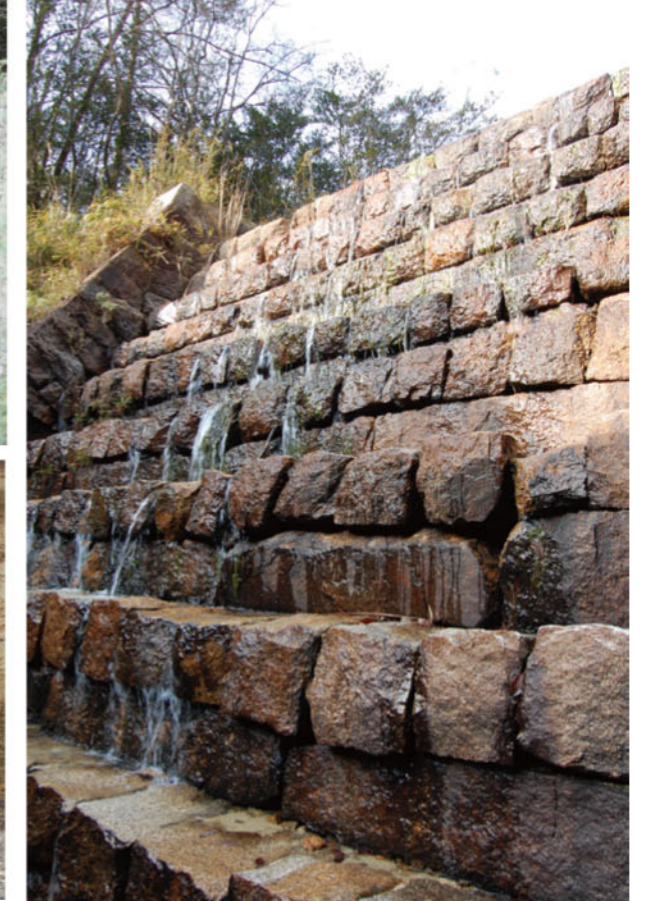


オランダ堰堤の名称は、明治政府によって内務省土木局に招かれ、西洋の土木技術を日本に伝えたオランダ人、ヨハネス・デ・レーケ (Johannis de Rijke) が指導したことに由来するが、残念ながら、明治6年(1873)年に草津川流域に巡視に来た記録が残ってはいるものの、それ以上に、デ・レーケが、この堰堤の計画に関わった記録は残されていない。

本堰堤の約60m下流に明治24年(1891)竣工の副堰堤も残されている。



鎧堰堤遠景（左上） 鎧堰堤天端から下方を望む（左下） 鎧堰堤詳細（右）



### 鎧堰堤

鎧堰堤は、大津市の南東、甲賀市信楽町へと続く湖南アルプスと呼ばれる山並みの中にあり、大戸川に注ぐ天神川の支流に位置する。

堰堤は、堤長9m、高さ6.8m、天端幅2.2m、両袖土堰堤幅21.3m、平均法勾配8分程度。最上段の石の前面から最下段の石の前面まで4.8m。両袖部分にも石積みが施されている。

正面に見える石は、その成分から周辺で採取された花崗岩と考えられ、大きさは、幅36cm×厚31cm×長1.22m程度である。

全体で11段、302個の石で造られ、総重量は約100tと推定される。1段の高さは約60cm、奥行約50cm、2石で構成され、上部の石は長手方向に、下部の石は、横手方向に積まれている。

上流側は、満砂し、砂に埋もれているため形状は不明である。

設計は、田辺義三郎で、明治22年(1889)に竣工された。



御仏堰堤

### 田上山の歴史的砂防施設

オランダ堰堤、鎧堰堤のほかにも明治時代から整備された数多くの砂防施設が田上山中にみられる。

御仏堰堤・大欠谷谷止・土佐ヶ谷2号谷止・一の谷堰堤などが代表的な施設として残り、田上治山の重要性をうかがい知ることができる。